

2020/10/6

(うとQ世話し「もともと生き物は、元気が常態」のようですから)

米国在住の友達の小さなお子さんの動画を見ていて

「活発でいいなあ」

と思いました。

初秋に飛んでいる赤とんぼも紋黄蝶も雀も、みんな元気。

しかし、身体は不調でもなさそうなのに、何故か元気もなく活気もない人間様や、人間様に飼われているわんこにも、元気がない子たちが散見されます。

「元気がない、元気が出ない、活力が湧かない」

というのは、やはり何かが間違っているか、おかしくなっているような気がします。

周りのせいなのか？自分自身のせいなのか？

それは人さまざま、わんこ様々でしょうが、言えることは「何かが間違っているようですね」という事。

今までの自分や自分の家族に照らしてみても、今はそう思うようになりました。

仮に、自分自身が

「そんな筈はない。だって〇〇〇、×××があるから、そんな筈はない」

と思っても（或いは立ち位置上からそう言わざるを得ない場合でも）、見せかけや自分自身への「あってしかるべき論」は取り除いてみて、もし「本当を言えば」元気も湧かず、活力も湧いてこない、少しでも「感じる」なら、手遅れにならないうちに、一度全部を素直に疑ってみるか、総点検してみた方がいいような気がいたします。

だって、長年いろいろ観察し続けたところ、どうやら

「もともと生き物は、元気が常態」

の、ようですから。

注)

(気付く時機が遅い場合、本来の元気のリセットに可成の時間を要する場合がありますから、速やかに、一度全部を疑ってみるなり、総点検を試みることを、強くお勧めいたします)